

ドキュメンタリー・ドリーム・ショー

山形in東京2008

Documentary Dream Show—Yamagata in Tokyo 2008

1989年より隔年開催されている山形国際ドキュメンタリー映画祭。
2007年に迎えた第10回目の作品の凱旋上映と、
東京上映のオリジナル企画を合わせた129本を
怒濤のごとく一挙上映!

ドキュメンタリー映画から
世界にとびだそう!

9月20日(土) → 10月3日(金) ポレポレ東中野

10月4日(土) → 10月17日(金) アテネ・フランセ文化センター

11月1日(土) → 11月14日(金) ポレポレ東中野
11月8日(土) → 11月14日(金)は
レイトショー

Most films with English subtitles
For details in English, refer to website

www.cinematrix.jp/dds2008/



主催: シネマトリックス

共催: 山形国際ドキュメンタリー映画祭、アテネ・フランセ文化センター、ポレポレ東中野

特別協力: 成蹊大学アジア太平洋研究センター 協力: 東京国立近代美術館フィルムセンター



フィンランドセンター



フィルム提供・協力: アップリンク、岩波映像、呉文光、映画美学校、NHK、大内田幸子、大島プロダクション、組画、川喜多記念映画文化財団、グンヤフィルムプロ
国際交流基金、小谷忠典、CN インターボイス、シグロ、沙青、上海テレビ局、周浩、蘇青、米娜、孫悅凌、高嶺剛、タゲレオ出版、W-TV OFFICE
中国インディペンデント映画祭実行委員会、塚本宏、鶴岡市郷土資料館、ドイツ文化センター、東映、東映教育映画部、東京シネマ新社、東宝ステラ、日活
JAPAC (日本・バレスチナプロジェクトセンター)、BDK 製作委員会、パンドラ、黄牛田電影、馮艶、プラネット映画資料図書館、毎日映画社、日本教職員組合
間宮則夫、森口聡、矢島仁、「山谷」制作上映委員会、楊天乙、縁影会 (U-theque)、ヨネ・プロダクション、李紅、龍影、琉球放送、林鑫、龔科直靖、王芬
Danish Film Institute, Diorama Films, Les Documents Cinématographiques, National Film Board of Canada, PROGRESS Film-Verleih, SF Film Production

助成: 文化庁国内映画祭支援



ドキュメンタリー・ドリーム・ショー (DDS) 2008 プログラム一覧

引き裂かれる魂たち p. 4 ゲット・パブリック! p. 4-5 青春よ、進め! p. 6 日常が奏でる革命 p. 6	旅するカメラ p. 7 カンボジアのまなざし p.6-7 ワイルド・ワイルド・シネマ p. 7 ●DDSオリジナル企画 さまよえる若者たち … p. 8	●YIDFF 2007特集 ドイツ・ブラック・ボックス p. 8 ドラマティック・サイエンス! 科学映画劇場 … p. 9 蔵王を撮った男 満州に生きた男 p. 9 オキナワ、イメージの縁 (エッジ) 映画篇 p. 10-12 中国★記録電影 (ドキュメンタリー) の20年 p. 10-12
--	---	---

上映スケジュール 上映作品・イベントは変更・中止される場合がございます。予めご了承ください
 ・各回入替制 ・**□トーク** の表記がある回は関係者によるトークを予定しております ・★印付きは仲里効さんによる解説付き上映予定。
 ・【鉄西区】第1部、第2部、「旅—ポトシへ」、「ルート181」、「虹のアルバム」の上映時には途中休憩がございます。

ボレボレ東中野 9月20日(土)～10月3日(金)		ボレボレ東中野 11月1日(土)～11月7日(金)	
9.20 (土)	11:00 僧院物語 13:00 12タンゴ 15:00 鳳鳴—中国の記憶 18:50 雲の彼方に 21:10 革命の歌+ □ オープニングイベント 「革命の歌」を唄おう♪	10.1 (木)	11:00 ふるう+人はどうやって消されていくか 12:45 リック・ソルト 14:30 ありのまま +アキ・ラーの少年たち 16:10 ワイルド・ワイルド・ビーチ 18:50 溺れる海 21:00 日本の若者はいま+につぼん零年
9.21 (日)	11:00 旅—ポトシへ 16:15 アレンテージョ、めぐりあい 18:50 ピショル・ブルース 20:50 ルッキング・スルー	10.2 (木)	11:00 レイムンド 13:40 M 16:40 12タンゴ 18:40 旅—ポトシへ
9.22 (月)	11:00 ルート181 16:15 彼女の墓に花をそえるのは私 18:40 ジェニン ジェニン 20:10 あなたが去ってから 21:30 ガーデン	10.3 (金)	11:00 紙は余燼を包めない 13:10 戦争でも希望は死なない 15:10 僧院物語 17:10 ゴールデン・ダンス +我ら辺境に生きる 19:00 鳳鳴—中国の記憶
9.23 (火)◎	11:00 紙は余燼を包めない 13:10 ありのまま +アキ・ラーの少年たち 15:00 象の間で戯れる 17:10 過疎の断片たち +関西公園+ □ トーク 19:40 遭難フリーター+ □ トーク	アテネ・フランセ文化センター 10月4日(土)～10月17日(金)	
9.24 (水)	11:00 溺れる海 13:10 革命の歌 15:00 あなたが去ってから 16:30 雲の彼方に 18:40 ある共同ハウスのお話 21:10 新しい生活 弟を想う + □ トーク	10.4 (土)	13:50 かたつもり+垂乳女 15:40 彼女の墓に花をそえるのは私 18:00 兼愛
9.25 (木)	11:00 ビショル・ブルース 13:00 ゴールデン・ダンス +我ら辺境に生きる 15:30 OUT 18:30 ふるう +人はどうやって消されていくか 20:20 バックドロップ・クルディスタン + □ トーク	10.6 (月)	15:30 虹のアルバム 19:00 アベナキの人々
9.26 (金)	11:00 姉貴 14:10 かたつもり+垂乳女 16:10 雲の彼方に 18:50 リック・ソルト 20:40 LINE+ □ スペシャルトーク	10.7 (火)	15:00 あなたが去ってから 16:30 旅—ポトシへ
9.27 (土)	11:00 OUT 13:15 ミスター・ピリベンコと潜水艦 15:15 主人公 17:15 夢遊 19:05 ワイルド・ワイルド・ビーチ 21:40 過疎の断片たち+関西公園	10.8 (水)	14:50 私の紅衛兵時代 17:40 ETV特集「ドキュメンタリー映画作家 呉文光」 19:00 壁
9.28 (日)	11:00 生命 (いのち) 13:50 戦争でも希望は死なない+ □ トーク 16:10 溺れる海 18:10 M 21:10 彼女の墓に花をそえるのは私	10.9 (木)	14:10 革命の歌 16:00 M 19:00 ブラック・ボックス・ジャーマニー
9.29 (月)	11:00 ルッキング・スルー 13:10 象の間で戯れる 15:20 ある共同ハウスのお話 18:40 過疎の断片たち+関西公園 + □ トーク 21:00 山谷—やられたらやりかえせ	10.10 (金)	15:00 主人公 17:00 真昼の不思議な物体 19:00 キック
9.30 (火)	11:00 鉄西区 第1部 15:30 鉄西区 第2部 18:55 鉄西区 第3部 21:30 地下広場	10.11 (土)	14:20 「蔵王を撮った男・塚本閔治・山岳編」 16:20 「塚本閔治・帝都編&満州の石原莞爾」 18:00 アレンテージョ、めぐりあい
		10.13 (月)◎	15:00 「科学という芸術: ジャン・パンルヴェの愉快な世界」 17:00 「サイエンスの胎動:ドイツ・ ウーファ (UFA) 社文化映画選」 18:50 「やまがた科学劇場傑作選」
		10.14 (火)	14:50 「下村兼史、鳥を撮りつづけた男」 17:00 「小林米作、ミクロの探求者」 19:00 夢遊
		10.15 (水)	14:00 紙は余燼を包めない 16:00 姉貴 19:00 主人公
		10.16 (木)	14:40 リック・ソルト 16:30 僧院物語 18:30 ワイルド・ワイルド・ビーチ
		10.17 (金)	12:30 コロツガル・ユース 15:40 アレンテージョ、めぐりあい 18:00 鳳鳴—中国の記憶

チケット料金 ※ボレボレ東中野、アテネ・フランセ文化センターは2会場共通。

前売1回券 1,000円 / 前売3回券 2,700円
当日1回券 1,300円 / 当日3回券 3,600円
 ○前売券は会場窓口と、チケットぴあ (Pコード: 479-813) にてお買い求めください
 ○前売券の発売は9.19まで
 ○3回券は複数人数で使用可能
 ※「鉄西区」は各部ごと入替、別料金

フリーパス 15,000円 (50枚限定)
 ○フリーパス購入希望の方は、ご利用の方の写真 (3cm×2.5cm) をご持参ください
 ○会期前にも会場窓口とチケットぴあ (Pコード: 479-813) で販売致します
 ○フリーパスは記名者ご本人のみのご使用となります

オールナイト「オキナワン ドリーム ナイト」料金
 11月1日 (土) ボレボレ東中野で行われるオールナイト上映は特別料金になります
前売券 2,200円 (ボレボレ東中野、チケットぴあで販売 Pコード: 554-446 10月31日まで)
当日券 2,500円
 (オールナイト・リビーター割引)
 ドキュメンタリー・ドリーム・ショー2008のフリーパス、半券をご提示いただけましたらオールナイト上映のみ前売料金2,200円でご覧いただけます

各会場当日割引チケット情報
 ※こちらは共通チケットではございません。各会場のみで使用可:当日券のみとなります
 ●ボレボレ東中野 ……回数券 (5回券6,000円 / 10回券10,000円)
 ●アテネ・フランセ文化センター …アテネ・フランセ文化センター会員 | 1回券800円
 映画美学校受講生

入場に関して
 ●ボレボレ東中野▷開映15分前を予定。フリーパスも含め、チケットはすべて整理番号の受付が必要となります。全回整理番号順のご入場となります。朝10時40分より、当日整理番号の受付をいたします。
 ●アテネ・フランセ文化センター▷開映20分前を予定。先着での整列順でご入場となります。整理券はございません。

上映会場

9月20日(土)～10月3日(金)
11月1日(土)～11月14日(金) ※8日からレイトショー
ボレボレ東中野
 (JR・地下鉄大江戸線東中野駅より徒歩1分)
 中野区東中野4-4-1 ボレボレ坐ビル地下
 tel: 03-3371-0088
www.mmjp.or.jp/pole2/

10月4日(土)～10月17日(金)
アテネ・フランセ文化センター
 (JR・地下鉄・水道橋駅、御茶ノ水駅より徒歩7分)
 千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ4F
 tel: 03-3291-4339 (日・祝休館/13:00～20:00)
www.athenee.net/culturalcenter/

お問い合わせ:
シネマトリックス
 tel: 03-5362-0671 (平日 月～金/10:00～18:00)
www.cinematrix.jp

DDS関連イベント 詳細はそれぞれにお問い合わせ下さい。

中国、沖縄 ドキュメンタリー／アートの可能性 (仮題) 中国インディペンデント・ドキュメンタリーを牽引してきた呉文光 (ウー・ウェンガン) 氏と仲里効氏を迎えて、講演とディスカッション・セッション。 日程: 10月31日(金) 主催・お問い合わせ: 成蹊大学アジア太平洋研究センター (CAPS) http://www.seikei.ac.jp/university/caps/ tel: 0422-37-3549 fax: 0422-37-3866 e-mail: caps@im.seikei.ac.jp	目撃! 分析! 中国ドキュメンタリー (仮題) 新世代を迎えるチャイニーズ・ドキュメンタリーの制作背景と表現、「黄牛田電影」で連帯する意図などを日本の作り手とクロストーク。現代中国を映す担い手たちの本音を聞く! 日程: 11月8日(土) お問い合わせ: 久保田・西岡 tel: 090-7391-1366 e-mail: amelie0123@hotmail.co.jp	川崎でもやります! ドキュメンタリー・ドリーム・ショー—山形in川崎 2008 日程: 11月15日(土)～21日(金) 上映作品: 『鳳鳴—中国の記憶』『アレンテージョ、めぐりあい』『旅—ポトシへ』『兼愛』『バックドロップ・クルディスタン』 会場・お問い合わせ: 川崎市アートセンター アルテリオ映像館 ※月曜休映 川崎市麻生区万福寺6-7-1 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分 tel: 044-955-0107 http://kawasaki-ac.jp/cinema/index.html
---	---	---

山形国際ドキュメンタリー映画祭 (YIDFF) 1989年にアジア初の国際ドキュメンタリー映画祭として開催され、以後、隔年で行われ、去年10回目を迎えた。次回11回目は2009年10月8日(木)～15日(木)に開催。
www.yidff.jp

オープニング・イベント
「革命の歌」を唄おう♪
 YIDFF2007で大好評だったカラオケ企画「映画に唄えば♪」をDDSのオープニングで再び! 『革命の歌』本編上映後、オープニングタイトルに流れる「あなたが立つのはどこ側? (Kenen joukoissa seisot)」のカラオケ映像と共に力強く合唱しましょう! 来場者にはフィンランドのビールが水をプレゼント! (数限り有り) フィンランドを目と耳とノドで楽しみましょう!
 日時: 9月20日(土) 21:10の回上映終了後
 協力: フィンランドセンター



オキナワ、イメージの縁 (エッジ) 映画篇
スペシャル・イベント
 ■解説付き上映
 11月1日(土)～11月7日(金)
 ★印付きは仲里効さんによる解説付き上映予定。
 ■オールナイト上映
 オールナイト・イベント「オキナワン ドリーム ナイト」
 11月1日(土) 23:00～ボレボレ東中野
 三線奏者による音付けと高嶺剛監督自らが映写するライブ上映「オキナワン ドリーム ショー」、高嶺監督も多大な影響を受けた『リトアニアへの旅の追憶』、そして『オキナワン チルダイ (特別編)』を上映。まさに現実と夢を行交うドリームナイトをとくご体験あれ! 高嶺剛監督ほか、参加者によるトークショーも予定。

「中国★記録電影 (ドキュメンタリー) の20年」記念
スペシャル・トーク
 中国から作家たちが続々来日!
 ■11月1日(土) 14:00 レクチャー「中国ドキュメンタリーの20年」
 映像を交えながら、呉文光監督がこの20年のドキュメンタリー映画シーンを語ります。(1回分のチケットが必要です)
 ■11月4日(火) 20:55 (「夢遊」上映終了後)
 「はじめまして、黄牛田です」
 謎の映像集団・黄牛田電影の自己紹介です。
 ■11月7日(金) 21:00 「黄牛田 大トーク」(「NOISE」上映終了後)
 中国社会に対する異議申し立て? 連帯と自由のドキュメンタリー制作について徹底討論。

東京の香味庵
Space NEO
 山形映画祭のおなじみ、夜の交流の場「香味庵」が東京にも限定出現!
 アテネ・フランセ文化センターでの上映終了後、以下の日程で行います!

香味庵だけ参加もOK。おいしい料理と語らいを楽しみましょう。

日時	10月4日(土) 『兼愛』ナイト with 中国料理 10月13日(月・祝) 科学映画ナイト with 菌類料理 10月17日(金) 前期打ち上げナイト with 山形料理 上記の3日でその日の最終上映終了後よりスタート。(10月4日は20:30頃スタート。他2日は21:30頃スタート)
入場料	おひとり様: 1ドリンク+各日趣向料理プレート ¥1000 追加1ドリンク各 ¥300
会場	Space NEO 千代田区神田小川町2-10-13 御茶ノ水ビル1F (都営新宿線「小川町駅」、千代田線「新御茶ノ水駅」・丸ノ内線「淡路町駅」、B5出口より徒歩1分 / JR「御茶ノ水駅」聖橋口より徒歩5分) www.neoneoza.com

引き裂かれる魂たち

「ああ思い出す、あの土埃の匂い……。」モノや金の流通が加速化する世界繁栄の陰で、愛する人と過ごす平凡な幸せが許されない人々の物語。



鳳鳴 (フォンミン) —— 中国の記憶 FENGMING A Chinese Memoir C

中国/2007/中国語/カラー /DVcam/183分

監督: 王兵 (ワン・ピン)

ある老女の古ぼけたアパート。ソファで差し向かい、ただただ話を聞く……。1950年来、幾たびもの肅清運動で迫害を受けた彼女の壮絶な物語が、ほとんど編集をささない固定カメラの映

像と音声を通して圧倒的な波動で押し寄せてくる。記者だった夫との情愛と別れがまるで目の前で繰り広げられるよう。

映9.20(土)15:00 映10.3(金)19:00
ア10.17(金)18:00 映11.5(水)13:10



M C

アルゼンチン/2007/スペイン語/カラー、モノクロ/35mm/150分

監督: ニコラス・プリビテラ

1976年。軍事政権下のアルゼンチンで、ふたりの幼い息子をもつ平凡な女性が突如消息不明となった。マルタはどこに消えたのか。母不在のまま大人となった長男ニコラスが、映画というメスを借り、汚い過去を封印しようとする国家と当時を知る人々の記憶に揺さぶりをかける。 映9.28(日)18:10 映10.2(木)13:40 ア10.9(木)16:00



ジェニン ジェニン Jenin Jenin

パレスティナ/2002/アラビア語/カラー /DVD上映/54分

監督: ムハンマド・バクリ

2002年4月、ヨルダン川西岸地区のジェニン難民キャンプでイスラエル軍は無差別な虐殺を繰り広げ、さらにその事実を隠蔽しようとした。死傷者数百人の多くが子どもや高齢者を含む非戦闘員だった。俳優のバクリは、生き残った人々の生々しい証言と瓦礫の町並みをカメラに収め、イスラエル人に真実を知ってほしいと思った……。 映9.22(月)18:40



彼女の墓に花をそえるのは私

I Am the One Who Brings Flowers to Her Grave C

シリア/2006/アラビア語/モノクロ/

DVcam/110分

監督: ハーラ・アルアブドラー、

アンマール・アルベイク

祖国シリアから遠く離れたフランスで長年亡命生活をおくるハーラとすっかり白髪となった画家の夫。荒れくれた海、孤島に取り残された少年、修復されるイコン、初老を迎える女友だちの涙。“流刑者”の喪失、諦念、そして希望を政治ではなく詩と風景から描く、幻想的な心のさげび。

映9.22(月)16:15 映9.28(日)21:10

ア10.4(土)15:40



ガーデン Garden C

イスラエル/2003/ヘブライ語、アラビア語/カラー /DVcam/85分

監督: ルーシー・シャツ、アディ・パラシュ

テルアヴィヴの一角ガーデンには、あらゆる人たちが道にあふれ、街灯がまぶしい猥雑な町。イスラエルという表社会では窒息してしまうティーン・エイジャーの親友、ニノとドウドゥにとってはこの家が住居だ。日々をやりすごすにも厳しい路上生活を送りながら、彼らのその目の先には、“何か”が広がっている。 映9.22(月)21:30



戦争でも希望は死なない

Hope Dies Last in War A

インド/2007/英語、ヒンドゥー語、ベンガル語/カラー、モノクロ/DVcam/80分

監督: シュプリオ・シェーン

パキスタン戦争の前線に送られたとき、安否不明とされる大勢のインド軍兵士たち。新婚の思い出を語る妻、老いていく母、父親を知らずに育った子どもたちが30年間も帰りを待ち続ける。国の外交「事情」と無策が普通の幸せを奪う非道に、声を上げる。 映9.28(日)13:50+トーク(シュプリオ・シェーン)

映10.3(金)13:10



Fragments of depopulation

過疎の断片たち A

日本/2007/日本語/カラー、モノクロ/

DVcam/10分

監督: Robo-Kobo (木村拓朗、三好宏明)



関西公園 ~ Public Blue

Public Blue A

日本、ドイツ/2007/日本語、英語/カラー /

DVcam/70分

監督: アンケ・ハールマン [AHA]

おばあちゃんの唄声が招く、碧いモノクロの光に潜む猫と老人の鳥。時代の綻びを予感させ、海と風の気配に心惹かれる『過疎の断片たち』。6月に「暴動」の起きた西成をはじめ、野宿者への権力による圧力が絶えない大阪の各公園。2006年の強制撤去を軸に、工夫あふれる楽しい画面作りが日本的な事情へ切り込む『関西公園』。 映9.23(火)17:10+トーク(Hex 関西公園)

映9.27(土)21:40

映9.29(日)18:40+トーク(木村拓朗、三好宏明『過疎の断片たち』)



僧院物語

The Monastery C

デンマーク/2006/デンマーク語、英語、ロシア語/カラー /35mm/84分

監督: パーニレ・ローセ・グロンケア

ヴィー老人が僧院にするため50年前に購入した城を、82歳になってようやく教会・修道院としてロシア正教が相続することが正式に決まる。準備のためデンマークにやってきた若いロシア人尼僧と価値観の違いなどで衝突を繰り返しながらも、共同で教会作りに取り組み続ける自称恋愛経験なしのヴィー老人の姿を魅力たっぷり描く。

映9.29(日)11:00

映10.3(金)15:10

ア10.16(木)16:30



ゲット・パブリック!

突如やってくる「通知」や「災害」に留まらない、世界中で続くさまざまな形での当たり前その場所への弾圧や破壊に抗うべく、私たちと(共)にある(パブリック)を創りだそう!



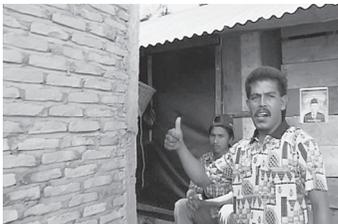
溺れる海 The Drown Sea A

インドネシア/2006/インドネシア語、スダダ語、ジャワ語/カラー、モノクロ/DVcam/94分

監督: ユスラム・フィクリ・アンシャリ (ユフィク)

1980年代から沈泥により急激に陸地化したジャワ・カンボンラウトのスガラアナカン洞。住民は「新しい」人たを横目に、溺れかかった海を行交うボートに乗り、漁業では食べていけない生活を患案する。変容していく土地、人

と風景を目前に、住民たちは積極的に映画作りに関わり、現代社会の抱える環境へのシグナルを灯す。 映9.24(水)11:00 映9.28(日)16:10 映10.1(木)18:50



象の間で戯れる

Playing between Elephants A

インドネシア/2007/

アチェ語、インドネシア語、英語/

カラー /DVcam/90分

監督: アルヨ・ダヌシリ

アチェの東グウェンティン村。津波から1年、国連人間居住計画などの資金で自宅再建が始まるも、すべてを取り仕切らなければならない村長は、長老、村人、建設業者、役人、国連職員らに挟まれ奔走する。支援金や物資のやりくりだけでない混沌の中、村長と村の行く末は……。 映9.23(火)15:00 映9.29(日)13:10



ゴールデン・ダンス

Golden Dances A

イラン/2006/ペルシャ語/

カラー、モノクロ/DVcam/26分

監督: アリ・カランタリー

女性服の装飾に使われる金錦を作る老職人。戦争で肉親を失い、材料も入手不可能となった時、戦争の残骸をも優雅に編み込んでいく『ゴールデン・ダンス』。川が孤立させるネパールの辺境に住む人々が和気あいあいと取り組む



我ら辺境に生きる

We Corner People A

ネパール/2007/ネパール語/カラー /

DVcam/49分

監督: ケサン・チュテン

橋作り。貧しくも人生に奔放な住民たちが橋完成の瞬間に幻想のようなひとときの平穏を送り出す『我ら辺境に生きる』。 映9.25(木)13:00 映10.3(金)17:10



192-399 : ある共同ハウスのお話

192-399: A Story about the House Living Together A

韓国/2006/韓国語/カラー /DVcam/126分

監督: イ・ヒョンジョン

取り壊し予定のアパートを占拠し、住み始めた「共同ハウス」の意気揚々としたホームレスの面々。路上で服を売って日銭を稼ぎ、他のホームレスたちへの炊き出しを試みるなど、新しい生活のあり方を模索し人間の尊厳を語り合う。しかし、想いがすれ違い始め、新しいメンバーが入った冬を越し、何かが静かに変わり始める……。 映9.24(水)18:40 映9.29(日)15:20



ふるう Sift A

アメリカ、カタール/2006/英語、アラビア

語/カラー /DVcam/10分

監督: サリー・ヴァンゴーター



人はどうやって消されていくか

The Description of Bankruptcy A

韓国/2006/韓国語/カラー /DVcam/61分

監督: イ・ガンヒョン

著名な海外大学が集まるドーハ郊外に拡大する巨大な学園都市。この地の様々な変化のスピードと肌触りを15人の女性たちの言葉の断片から綴る『ふるう』。アジア金融危機後破綻に陥った人々の暮らしを、韓国的事情に照らしだす。個人を社会から蒸発させる乾いた空気を、淡々と皮肉なナレーションでゲリラ映像詩に変換した『人はどうやって消されていくか』。 映9.25(木)18:30 映10.1(木)11:00

鉄西区

Tie Xi Qu: West of Tracks C

中国/2003/中国語/カラー /DVcam/全545分

監督: 王兵 (ワン・ピン)

王兵の名を映画史上に残した驚愕の9時間。日本占領時から東北部瀋陽にある重工業地帯、鉄西区。いまにも巨大な国営事業が没落し、傾き倒れていく様に立会い、寄り添う映画体験を、「工場」「街」「鉄路」の三部構成で描き出す。ひとりの作者がこれほど壮大なスケールで世界と向き合うとは。 映9.30(火) 第1部11:00 第2部15:30 第3部18:55 ※各部入れ替え、別料金



OUT:ホモフォビアを叩きのめす!

プロジェクト A

韓国/2007/韓国語/カラー /DVcam/110分

監督: ウム・フェミニスト・ビデオ・アク

ティヴィズム (WOM)

ソウル在住、恋にセクシュアリティに学校に家族に悩むレスビアン高校生3人。それぞれが身の回りで工夫を凝らして撮影してきた映像を監督のひとりと試写する場は、ときに悩み相談室。等身大の自分をさらけ出しながら、自分に、恋人に、家族に、世の中に何か言わせて!と自らカメラを手にして語り、歌いだす。痛快プロジェクト。 映9.25(木)15:30 映9.27(土)11:00



アベナキの人々

Waban-Aki: People from

Where the Sun Rises C

カナダ/2006/英語、フランス語、アベナキ

語/カラー /DVcam/104分

監督: アラニス・オボンサウィン

カナダのケベック州オダナクに1世紀以上住んでいる、アベナキ族のイヴォンヌ・ムサドクの物語は尽きることがない。彼女の話し相手は、オダナクに育った監督のアラニス。先住民作家として30本以上のドキュメンタリーを発表してきた監督は、原点に立ち戻り、育った村を撮りながら、自らの民族の物語を叙情的にうたい上げる。 映10.6(日)19:00



青春よ、進め!



親密な家族、遠く離れた親子、社会に翻弄される子どもたち……。真実に、虚構に、様々な関係に見出されるのは、時の優しさか残酷さか。青春は、時を軽々と越える!



かたつもり Katatsumori ㊞
日本/1994/日本語/カラー/
DVcam/上映/40分 ㊞YIDFF95奨励賞



垂乳女 (たらしめ)
Tarachime birth/mother ㊞㊞
日本/2006/日本語/カラー /DVcam/39分
㊞YIDFF2007特別賞

監督: 河瀬直美

『垂乳女』の裸体への眼差しと養母にかけた「かたつもり」の後、劇映画で国際的な名声を得ていく監督河瀬直美。12年経って再び老いていく養母を、自ら生命を誕生させる瞬間と併せて撮る。

㊞9.26㊞14:10 ㊞10.4㊞13:50

リック・ソルト——僕とばあちゃん

Lick Salt—A Grandson's Tale ㊞㊞



カナダ/2006/英語/カラー、モノクロ/
DVcam/78分
監督: ライアン・フェルドマン
15年ぶりに顔を合わせた監督と祖母。天真爛漫なひとり暮らしの老女に惹かれてたびたび訪れるようになる監督は、居場所を求め転職や引越を繰り返している。死へのいらだちやおびえ、写真に語りかけ食事を用意する老女に手を焼きながらも、次第に交流を深めるふたり。おもいや将来への不安が絡み合い、奇妙な関係が紡がれていく。 ㊞9.26㊞18:50 ㊞10.1㊞12:45 ㊞10.16㊞14:40

日常が奏でる革命 山形的音楽ドキュメンタリー

思わず体が動いてしまう! 生活から、生きることから生まれるフレーズ、メロディー、リズムの熱風に身体をとときはなとう。感性の筋肉が躍動する3本。



㊞9.20㊞21:10十オープニング
『革命の歌』を唄おう! (p3)
㊞9.24㊞13:10 ㊞10.9㊞14:10

革命の歌 Revolution ㊞㊞

フィンランド/2006/フィンランド語/カラー、モノクロ/35mm/80分
監督: ヨウコ・アールトネン
心が奮い立つ革命歌。『連帯の歌』や『不屈の民』がフィンランドでも。歌うことで社会を変えようと多くの若者が1970年代“うたごえ運動”に飛び込んだ。かつてのヒーローたちもいまや中年。理想の追求、連帯への熱望、そして訪れる驚り。高揚、矜持、屈託や願いをこめて、当時は振り返る彼らが再び歌う、歌う、歌う!

12タンゴ フェノスアイレスへの往復切符

12 Tangos: Adios Buenos Aires ㊞㊞
ドイツ/2005/スペイン語/カラー /35mm/86分
新天地を求め19世紀末、欧州から多くの人々が南米に渡った。そして2002年の経済破綻を経たアルゼンチンでは職を得るため人々が欧州行きを列をなす。移民たちの魂のぶつかり

配給: アップリンク
監督: アルネ・ビルケンシュトック
合いから生まれたタンゴ。名匠ルイス・ボルダを音楽監督に迎え、情熱、哀感、望郷を滾らせる12曲のタンゴが人々の物語を抱きしめる。 ㊞9.20㊞13:00 ㊞10.2㊞16:40



雲の彼方に

Somewhere over the Cloud ㊞㊞
台湾/2007/中国語、フランス語/カラー/
DVcam/102分 ㊞YIDFF2007特別賞
監督: 蕭美玲 (シャオ・メイリン)
台湾に住む監督の娘エロディにとって、フランスにいる父親はネット越しにいるヴァーチャルな「パパ」。国境のない小さな画面の世界で築こうとするふたりの関係を監督は母として作家として撮っていく。監督の師である故ロバート・クレイマーにあてた手紙を織り込み、距離、アイデンティティ、国籍を越えて漂う家族が描かれる。

㊞9.20㊞18:50 ㊞9.24㊞16:30
㊞9.26㊞16:10



生命 (いのち)——希望の贈り物

Gift of Life
台湾/2003/中国語、台湾語/カラー/
DVcam/142分 ㊞YIDFF2003優秀賞
監督: 呉乙峰 (ウー・イフォン)
2001年9月21日の台湾大地震のその後の人々の思いを、監督自身の友人への手紙を軸に綴っていく。日本に働きに行っている間にふたりの子どもを失った夫婦、両親を失った姉妹、7人の家族を失った1人の女性。それぞれが喪失感を抱えながらも、今はない家族に手紙を書き、生きることへの希望が生まれてくる……。 ㊞9.28㊞11:00



ビショル・ブルース

Bishar Blues ㊞㊞
インド/2006/ベンガル語/カラー /DVcam/80分
監督: アミターブ・チャクラボルティー
人間の間に神の姿を探し求める。自分を知ることが修行=ビショルである。イスラムの教えを自由に解釈し、異端とされる修行僧フォキルたちは、歌に靈知マルフォトを宿らせ伝え歩く。ベンガルの大地に生きるフォキルたちの祈りと音楽が一体となる時空間に陶然と酔いしれる。 ㊞9.21㊞18:50 ㊞9.25㊞11:00



虹のアルバム (僕は怒れる黄色94)

Why Is Yellow Middle of the Rainbow?
フィリピン/1994/英語、タガログ語/
カラー /16mm/175分 ㊞㊞
監督: キドラット・タヒミック
アメリカのモニュメント・ヴァレーから始まり、幻のムー大陸へと、世界と宇宙を駆け巡る監督の傍らにはいつも息子たちの姿が。激動の歴史に併走して成長する3人の息子たちを10年以上撮り続け増殖する『終わりのない映画』。今やフィリピンの歴史と文化を作るのは息子たちだ。 ㊞10.6㊞15:30



コロツサル・ユース Colossal Youth

ポルトガル、フランス、スイス/2006/
ポルトガル語/カラー /35mm/155分
監督: ペドロ・コスタ
『ヴァンダの部屋』のスラム街は取り壊されて、ヴァンダは新しい集合住宅に移り住んで夫と子どもと暮す。妻に去られた後、まだ残るスラム街と新築住宅を行き来し“子どもたち”を訪ねる初老の男ヴェントウラ。過去と現在を縦横無尽に交錯させながら、彷徨える魂を描き出す。ヴェントウラが繰り返し口ずさむ手紙が感動を呼ぶ。 ㊞10.17㊞12:30



紙は余燼 (よじん) を包めない

Paper Cannot Wrap Up Embers ㊞㊞
フランス/2006/カンボジア語/カラー/
DVcam/86分
監督: リティー・パニコ
プノンペンのアパートに娼婦として暮らす女性たち。田舎やキャンプから出てきた彼女たちは、マダムや客の暴力、病、借金や真い目などから戻ることができない。『さすらう者たちの地』『S21 クメール・ルージュの虐殺者たち』など、カンボジアの記憶を取り戻すため作り続ける監督が彼女たちの語らい、つぶやきを写し取る渾身作。 ㊞9.23㊞11:00 ㊞10.3㊞11:00 ㊞10.15㊞14:00



旅するカメラ

ポルトガル、南米、イラン、タイ、パレスティナ……。過去への旅、境界の旅……。そこに浮かび上がるのは、詩、音楽、物語、歴史。そして土地に生きる人々とカメラが交錯する。



アレンテージョ、めぐりあい

Encounters ㊞㊞
ポルトガル、フランス/2006/ポルトガル語/カラー、モノクロ/DVcam/105分 ㊞YIDFF2007最優秀賞
監督: ビエール=マリー=グレ
60年代後半にポルトガル南部のアレンテージョに魅せられた、詩人アントニオ・レイス、民族音楽研究者ミシェル・ジャコメッティ、映画監督パウロ・ローシャたち。村人と共有した記憶は、詩、音楽、映画へと結晶した。静かな海と村のたたずまいの中に、哀しみをたたえた歌や詩が流れ、ローシャの映画と共に、記憶が村人の息吹で蘇る。 ㊞9.21㊞16:15 ㊞10.11㊞18:00 ㊞10.17㊞15:40

旅——ポトシへ

Potosi, the Journey ㊞㊞
イスラエル、フランス/2007/英語、スペイン語、ヘブライ語/カラー、モノクロ/35mm/246分(フィルム1,130分/フィルム2,116分)
㊞YIDFF2007優秀賞
監督: ロン・ハヴリオ
1970年に新婚旅行で旅した道を、29年後、監督夫妻と3人の娘が再びたどっていく。プエノスアイレスからアンデス山脈へ……。鉱山の町ポトシで出会う昔のままの人々、新しい環境に生きる人々。アンデスの風景とゆったりした音楽の中で、あらわになる家族間の軋轢は、どこへ向かっていくのか。 ㊞9.21㊞11:00 ㊞10.2㊞18:40 ㊞10.7㊞16:30



ルッキング・スルー Looking Through ㊞㊞

イラン、オーストラリア/2007/ペルシャ語/カラー /DVcam/81分 監督: マーニー・ベトガー
母国へ戻ってきたイラン人女性が、次の映画プロジェクトを探し求める監督が想うのは……。人々の話に吸い寄せられ立ち止まり、また離れながら、イランの現在が奏でられる。 ㊞9.21㊞20:50 ㊞9.29㊞11:00

カンボジアのまなざし

アンコール遺跡など近年世界中から観光客を引きつけるカンボジア。クメール・ルージュの残した爪痕から立ち直ろうとする社会に人々の生、死、かけがえのなさを描く2本。



ありのまま Bare ㊞㊞

インド/2006/英語/カラー /DVcam/11分
監督: サンターナ・イーッサル



アキ・ラーの少年たち

Aki Ra's Boys ㊞㊞
シンガポール、カンボジア/2007/クメール語、英語/カラー /DVcam/57分
監督: リン・リー、ジェームス・ロン

シムリアップにある地雷博物館のガイド、ボレクは遊びたい盛り。きりもりするアキ・ラーは元少年兵。かつて自分が敷いた地雷を素手で撤去していく。地雷の被害に遭い、うずく傷を抱えるボレクたち。しかし、毎日はプロレ



真昼の不思議な物体

Mysterious Object at Noon ㊞
タイ/2000/タイ語/モノクロ/35mm/83分
㊞YIDFF2001優秀賞
監督: アビチャップン・ウィーラセタクン
タイの各地を旅して、出会った人々に物語の続きを創作して語ってもらう。マイクを向けられる人々の生活と、彼らによって語られていく「不思議な物体」の物語が交錯し、監督自身も予想できない展開に、作品自体が不思議な物体と化していく。今や1作毎に世界の注目を集めるアビチャップンの長編第1作。 ㊞10.10㊞17:00



ルート181

Route 181—Fragments of a Journey in Palestine-Israel ㊞
ベルギー、フランス、イギリス、ドイツ/2003/アラビア語、ヘブライ語/カラー、モノクロ/DVcam/270分 ㊞YIDFF2005最優秀賞
監督: ミシェル・クレフィ、
エイアル・シヴァン
パレスティナクレフィとイスラエル人シヴァンの両監督は、1947年の国連決議181案で定められたパレスティナを二分する境界線を「ルート181」と名付け、それに沿って2カ月の旅をする。ふたりに出会うユダヤ人やアラブ人の言葉に耳を傾け丹念にカメラに収めていく。そこに照射されるのは、国家、民族、宗教、国境、差別……。 ㊞9.22㊞11:00

ワイルド・ワイルド・シネマ

人の狂気や創作の源なら、“狂える現在”のドキュメンタリーはどこに行くのか。そして見る我々の狂気は? もっとも、ワイルドに! 挑発・加速する映画たち。



ミスター・ピリベンコと潜水艦

Mr. Pilipenko and His Submarine ㊞㊞
中国/2005/ロシア語、ウクライナ語/
カラー /DVcam/90分 ㊞YIDFF2007市民賞
監督: ヤン・ヒンリック・ドレーフス、
レネー・ハルダー

配給: パンドラ
苦節30年。ウシヤ犬もほのぼの暮らすウクライナの片田舎で“お手製”潜水艦をコツコツ作り上げるピリベンコ。狂気の沙汰と一蹴する村人と生活を支える年金奪取常習犯の夫に嘆く。しかし、男は周囲の評判などこ吹くまま』を併映。 ㊞9.23㊞13:10 ㊞10.1㊞14:30



ワイルド・ワイルド・ビーチ

Wild, Wild Beach ㊞㊞
ロシア、ドイツ/2006/ロシア語/カラー/
DVcam/125分
監督: アレクサンドル・ラストルグエフ、
ウイタリー・マンスキー、
スザンナ・バランジエヴァ

黒海の海岸の明るいた陽のあと、人々は快楽、金、権力などの欲望を剥き出しにする。観光客目当てにラクダを遠路はるばる運ぶ写真屋、酔いどれ老女、女を追いかけ回す太っちょ&ノッポのふたり組、プーチン大統領の訪問など…。ドストエフスキーやゴッゴリなどのロシア文学をも彷彿させるワイルドな描写は、現代社会の狂乱の縮図か。 ㊞9.27㊞19:05 ㊞10.1㊞16:10 ㊞10.16㊞18:30



主人公 Protagonist ㊞㊞

アメリカ/2006/英語、ドイツ語/カラー/
35mm/90分 監督: ジェシカ・ユー
連続銀行強盗、カンフーおたく、ゲイの伝道師、ドイツ人テロリスト。幼少期の恐れに呑み込まれ、いつの間にか極端な深淵を歩いてきた男たちのモノローグ。まったく違う半生ながらもストーリーテリングの妙がめくるめく変奏を生み、幕間のギリシャ人形悲劇と奇妙な楽曲を奏でる。『ヘンリー・ダーガーの謎』の監督によるスリリングな意欲作。 ㊞9.27㊞15:15 ㊞10.10㊞15:00 ㊞10.15㊞19:00



夢遊 Dream Walking ㊞㊞

中国/2005/中国語/モノクロ/DVcam/86分
監督: 黃文海 (ホァン・ウェンハイ)
1980年代半ばの思想開放の時期に、現代美術運動の旗手だった画家、所構わず裸逆立ちする生態美術家としてがないウェブ詩人の3人に、北京帰りの怪しげな男が映画制作を持ちかける。バブリーな中国現代アートとは対極の真摯で孤独でやけっぱちな芸術家の世界。温いたモノクロームが彼らの混沌、純真、不思議な浮遊を立ちのぼらせる。 ㊞9.27㊞17:15 ㊞10.14㊞19:00 ㊞11.4㊞20:55+ トーク「はじめまして、黄牛田です」(黄牛田についてはp12)

DSS2008 オリジナル企画

さまよえる若者たち ナウ&クラシックス

グローバル化、所得格差、不透明な未来……。現代日本を生きる若者たちの漂流を描いた新作と、「いかに生きるか」を問うたかつての青年を映す“クラシックス”が好対照。



遭難フリーター
日本/2007/日本語/カラー /DVcam/67分
監督: 岩淵弘樹
平日は時給1250円で工場の単純労働、土日は憧れの東京で日雇い派遣。23歳の彼は、フリーターの権利を求めるデモに参加し、テレビに「不幸で貧しい派遣労働者」として取り上げられる。しかしその日常は「浅瀬で溺れるような日々」で、未来は見えない。日記のようにビデオを回し続ける中、自分の生きる根幹を探る……。
Ⓜ9.23ⓂⓂ19:40+トーク (岩淵弘樹)



新しい生活 弟を想う
日本/2007/日本語/カラー /DVcam/71分
監督: 薬科直晴
筋ジストロフィー症候群という重度の障害をもつ20代の兄弟が介助者を雇って共同生活を始めた。弟にかつて好きだった歌を再び歌ってほしいと願う兄。ふたりは新たなバンドを結成する。幼少から「死」と隣合わせの兄弟の生き方が、障害者映画の典型に陥らない、さわやかな青春映画に結実。1982年生まれの新しい才能をご紹介。
Ⓜ9.24ⓂⓂ21:10+トーク (薬科直晴)



LINE
日本/2008/日本語/カラー /DVcam/52分
監督: 小谷忠典
人口の三割が沖縄出身と言われる大阪大正区で育ち、曖昧な憎悪を抱える作者。酒に溺れる父の故郷沖縄に向かい、コザ吉原で女性たちの裸の肉体を凝視し撮影することにする。彼女たちの肌に残る傷痕から、父との愛憎関係、恋人の子どもの絆が結び直されるのか。本邦初公開の新作。上映後は4人の「さまよえる若者」監督たちによる大トーク。
Ⓜ9.26ⓂⓂ20:40+トーク (小谷忠典ほか3人)



山谷 (やま) —やられたらやりかえせ
日本/1985/日本語/カラー /16mm/110分
監督: 佐藤満夫、山岡強一
山谷は日雇い労働者が集住する東京の「寄せ場」。右翼やヤクザに搾取され、雇用者の言いなりの彼らは、組合を組織して労働条件を改善しようと激しい争議を始める。監督佐藤満夫が撮影11日目に刺殺される。制作上映委員会が使命を引き継ぎ、全国の労働者の生き様を描く映画を完成。“派遣労働”が切り捨てられる今と照らし合わせても興味深い。
Ⓜ9.29ⓂⓂ21:00



にっぽん零年 ©日活
日本/1968/日本語/モノクロ/35mm/74分
監督: 藤田繁矢 (後に敏八)、河辺和夫



バックドロップ・クルティスタン A
日本/2007/日本語、トルコ語/カラー /DVcam/102分
監督: 野本大
難民認定を求めて国連大学前に泊まり込みデモを行うクルド人カザンキラン一家。友人ながら傍観者だった監督も、やがて強制送還されてしまう彼らの現実を目の当たりにし、一家の背景を追



ドイツブラック・ボックス
東西に分断されたドイツの戦後は、統一後の現在まで複雑に絡み合ってきた。過去にどう向き合ってきたかを問う特集「交差する過去と現在——ドイツの場合」から珠玉の3本。

壁 The Wall
ドイツ/1989-90/ドイツ語/カラー、モノクロ/DVD上映/96分
監督: ユルゲン・ベットヒャー
山形映画祭が始まった1989年にベルリンの壁が崩壊した。本作品は、崩壊直前の壁に群がる人々、外国人観光客、東ドイツの警備隊、壁のかけらを売って歩く少年たちなどを、ナレーションを排した映像で見つめていく。また、壁をスクリーンにして壁建設当時の映像を映写。壁の歴史を見ながらその最期を見届けるのだ。
Ⓜ10.8ⓂⓂ19:00



地下広場
日本/1969/日本語/モノクロ/16mm/84分
監督: 大内田圭弥
1969年の春、新宿駅西口の地下広場はフォークを歌う者、議論を交わす者など、若者たちの解放区となっていた。しかし5月には機動隊が入り始め、ついに道路交通法で取り締まるため、広場は“道路”とされてしまう。ベトナム反戦、安保粉碎、沖縄闘争、三里塚空港阻止などが叫ばれた年に、未来を思う若者の声を活写する。
Ⓜ9.30ⓂⓂ21:30



日本の若者はいま
日本/1979/日本語/カラー /16mm/30分
監督: 土本典昭
土本監督の『日本の若者はいま』は様々な境遇を生きる青年たちの群像から高度成長期の日本社会を考察する。『にっぽん零年』は学園闘争に完結する1968年の記録。機動隊と衝突する学生、軍事訓練に没頭する自衛官、新宿をさまようフーテン少女。激しく熱く、葛藤が目に見えていた時代。YIDFF'95で発見され封印がとかれた幻だった作品。
Ⓜ10.1ⓂⓂ21:00



ブラック・ボックス・ジャーマニー
Black Box Germany
ドイツ/2001/ドイツ語/カラー、モノクロ/16mm上映/102分
監督: アンドレス・ファイエル
1989年に暗殺されたドイツ銀行の有力者ヘアハウゼンと、その事件の犯人とされたドイツ赤軍メンバーのグラムス。ナチのエリート教育を受けたヘアハウゼンと父親がナチの親衛隊で東ドイツからの避難民だったグラムス。70～80年代の西ドイツの政治的対立を象徴する同事件に、戦前、戦後のドイツの状況が絡み合う。
Ⓜ10.9ⓂⓂ19:00

キック The Kick
ドイツ/2005/ドイツ語/カラー /DVD上映/82分
監督: アンドレス・ファイエル
ベルリン北部の小さな村で2002年、16歳の少年が他の3人の少年に暴行殺害されるという事件が起こった。『ブラック・ボックス・ジャーマニー』のファイエル監督が、同事件を実験的な手法で再検証する。登場するふたりの役者が、複数の事件関係者を演じながら、奇妙な緊張感の中に現代ドイツの状況を浮かび上がらせる。
Ⓜ10.10ⓂⓂ19:00

YIDFF2007特集上映から

ドラマティック・サイエンス! 科学映画劇場

科学は映像の到来を待っていた。自然の神秘、生命のメカニズム、物質のさまざまな性質など、世界に横たわる数々の謎にカメラの眼で挑んだ魅惑的な科学映画が大集合!

科学という芸術: ジャン・バンルヴェの愉快な世界
日本/1969/日本語/モノクロ/16mm/84分
監督: 大内田圭弥
1969年の春、新宿駅西口の地下広場はフォークを歌う者、議論を交わす者など、若者たちの解放区となっていた。しかし5月には機動隊が入り始め、ついに道路交通法で取り締まるため、広場は“道路”とされてしまう。ベトナム反戦、安保粉碎、沖縄闘争、三里塚空港阻止などが叫ばれた年に、未来を思う若者の声を活写する。
Ⓜ9.30ⓂⓂ21:30

タツノオトシゴ The Sea Horse ©
1934/モノクロ/13分
監督: ジャン・バンルヴェ

四次元 The Fourth Dimension ©
1937/モノクロ/10分
監督: アシーユ・ピエール・デュファール
製作: ジャン・バンルヴェ

吸血コウモリ The Vampire ©
1939-45/モノクロ/9分
監督: ジャン・バンルヴェ

ウニ Sea Urchins ©
1954/カラー /11分
監督: ジャン・バンルヴェ

エビのはなし Shrimp Stories ©
1964/カラー /10分
監督: ジャン・バンルヴェ、ジュヌヴィエーヴ・アモン

タコの性生活 The Love Life of the Octopus ©
1965/カラー /13分
監督: ジャン・バンルヴェ、ジュヌヴィエーヴ・アモン

アセラ、または魔女の踊り Acera, or the Witches' Dance ©
1972/カラー /13分
監督: ジャン・バンルヴェ、ジュヌヴィエーヴ・アモン

液晶 Liquid Crystals ©
1978/カラー /6分
監督: ジャン・バンルヴェ
●上記8本 フランス/フランス語/DVcam上映

海の生物を扱った作品を中心に、真摯な探究心とユーモアに満ちた映画を次々と発表したフランスのジャン・バンルヴェ (1902～1989)。オスが卵を養育する風変わりな魚の生態に迫る『タツノオトシゴ』はバンルヴェ映画のシンボル。また『ウニ』の棘の拡大撮影や抽象映画『液晶』では科学とアヴァンギャルドの融合も試みられた。
Ⓜ10.13ⓂⓂ15:00

サイエンスの胎動: ドイツ・ウーファ (UFA) 社文化映画選

緑の放浪者 Green Drifters
1933/日本語ナレーション/14分
監督: ヴォルフラム・ユングハウス

生命の神秘 Mysteries of Life
1937/ドイツ語/14分
監督: ウルリッヒ・シュルツ、ヘルタ・ユーリッヒ



レントゲン線 Roentgen Rays
1937/ドイツ語/18分
監督: マルティン・リクリ

低温 Cold, Colder, and Coldest
1937/日本語ナレーション/12分
監督: マルティン・リクリ

●上記5本 ドイツ/モノクロ/35mm 東京国立近代美術館フィルムセンター提供

戦前にドイツ・ウーファ社が製作し、シャープな作風で世界を驚かせた先駆的な学術記録映画“クルトゥーアフィルム”。微速度撮影で植物の細かな動きを捉えた『緑の放浪者』や細胞分裂を顕微鏡撮影でフィルムに収めた『生命の神秘』など、ウーファの科学映画は独自の撮影術を発展させることで一種の様式美に到達した。
Ⓜ10.13ⓂⓂ17:00

やまがた科学劇場傑作選

サイエンス・グラフィティ —科学と映像の世界—
1984/16mm上映/27分 監督: 堀越慧



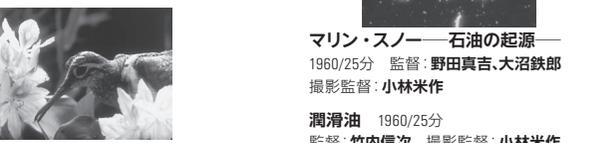
もんしろちょう —行動の実験的観察—
1968/16mm/27分 監督: 羽田澄子

もとその重さ
1969/DVD上映/21分 監督: 後藤一郎

自然界のつりあい —動物の数は何で定まるか—
1972/DVcam上映/25分 監督: 布村建
●上記4本 日本/日本語/カラー

山形映画祭で好評を博した4作品を厳選。科学映画自体をテーマとした画期的な『サイエンス・グラフィティ』に始まり、次の羽田澄子監督作品『もんしろちょう』はカラフルな実験がグラフィカルにも楽しい。1万個以上の昆虫の卵がいつか成長するのを追跡した『自然界のつりあい』は食物連鎖のメカニズムをロジカルに示した秀作。
Ⓜ10.13ⓂⓂ18:50

下村兼史、鳥を撮りつづけた男
或日の干潟 1940/モノクロ/35mm/17分
慈悲心鳥
1942/モノクロ/Beta-camSP上映/16分



こんこん鳥物語
1949/モノクロ/35mm/29分/東京国立近代美術館フィルムセンター提供

ライチョウ
1967/カラー /16mm上映/32分/東京国立近代美術館フィルムセンター提供
●上記4本 日本/日本語 監督: 下村兼史

生涯を鳥の撮影に捧げた稀有な映画作家下村兼史 (1903～1967)。望遠レンズを駆使して干潟の生き物たちをユーモラスにスケッチした『或日の干潟』は戦前期日本の科学映画の代表作。また遺作『ライチョウ』は、季節により羽の色を変えるライチョウを捉えようと、日本アルプスで探検度外視の長期撮影を敢行した執念の一本である。
Ⓜ10.14ⓂⓂ14:50

YIDFF2007特集上映から

蔵王を撮った男 満州に生きた男

「やまがたと映画」特集から戦前の珍しい映像を！蔵王を始め山々や都会の風景・人々を撮り続け、戦前から小型映画の旗手として知られた塚本閔治と、山形県の鶴岡出身の軍人・石原莞爾の知られざる一面。

蔵王を撮った男・塚本閔治・山岳編



Mount Zao (蔵王山) ©
1935/12分/英語インタータイトル・日本語字幕
●上記4本 サイレント/モノクロ/DVcam上映
雪裡に熊を狩る 1936/29分
丹沢・玄倉川 1940/21分
黒部溪谷 1932/25分

●上記すべて サイレント/モノクロ/DVcam上映
監督: 塚本閔治



1936年に英国国際コンテストで受賞し蔵王の樹氷を世界に知らしめた『Mount Zao』、美しい雪渓でのマギたちのスリリングな狩を撮った『雪裡に熊を狩る』など、丁寧な構成とユーモラスな演出で「記録映画」の範疇を越えた塚本閔治の作品集・山岳編。戦前のサイレント映画でありながら、その映像の魅力によって確かに音を響かせてくれる。
Ⓜ10.11ⓂⓂ14:20

小林米作、ミクロの探求者



マリノ・スノー——石油の起源——
1960/25分 監督: 野田真吉、大沼鉄郎
撮影監督: 小林米作

潤滑油 1960/25分
監督: 竹内信次 撮影監督: 小林米作

選ばれた乳酸菌
1965/18分 監督: 小林米作

ぜんそくを探る 1969/17分
監督: 杉山正美 製作、撮影: 小林米作
●上記4本 日本/日本語/カラー /35mm 東京国立近代美術館フィルムセンター提供

顕微鏡撮影の名手・小林米作 (1905～2005) は、微細な対象をドラマティックに見せる撮影術で国際的にも評価された。海中プランクトンの複雑な形状に迫る『マリノ・スノー』はシネポエムの趣もある日本記録映画史上の傑作。また様々なマシンで活躍する潤滑油を追う『潤滑油』はエロティックな感覚さえ併せ持つ魅惑の産業映画。
Ⓜ10.14ⓂⓂ17:00

塚本閔治・帝都編&満州の石原莞爾

PATHE NEWS 1927-28/9分
田園行進曲 1930/3分



帝都の春 1932/10分
宮内省保存狩猟法 千鳥猟 1936/10分
●上記4本 サイレント/モノクロ/DVcam上映
監督: 塚本閔治



石原莞爾の撮らえた満州
1930頃/サイレント/25分
立正安国 (石原莞爾インタビュー)
1946/日本語/5分
●上記2本 モノクロ/DVcam上映
鶴岡市郷土資料館所蔵

昭和初期の東京・丸の内、上野公園、小金井の花見、築地の魚河岸など、当時の風景そのものが興味尽きない。塚本閔治作品集・帝都編。そして、同時代に満州で自らパテ・ベビー 9.5mm で演習の様子や日常生活を撮っていた石原莞爾の様々なフッター集。戦争直後の石原莞爾のインタビュー映像を併映。
Ⓜ10.11ⓂⓂ16:20

DOS2008 大特別企画 PART1

オキナワ、イメージの縁 映画篇

YIDFF2003「沖縄特集 琉球電影列伝／境界のワンダーランド」でコーディネーターを務めた仲里効氏の著作「オキナワ、イメージの縁(エッジ)」(未来社/2007)の軸として著述された作品群を一拳上映する特別企画。尚いっそう、議論の深まる沖縄戦後世代の経験の位相と1972年の「復帰」を巡る作品と対峙することは、日本と沖縄の関係だけでなく、それを取り巻く状況から(世界)を見る目を携えることとなるだろう。11月1日～7日はゲスト・トークと仲里氏による解説つき上映!



激突死
1978/カラー /DVD上映/25分
演出：森口龍
それぞれの15年
1987/カラー /Beta-cam上映/45分
制作：琉球放送

復帰の翌年に、国会議事堂にオートバイで激突して死んだ上原安隆という青年の死の(なぜ?)に迫り、人と場所を訪ね歩く『激突死』。「復帰」を高校3年の時に迎えた当時と、その後の15年を追った「それぞれの15年」を劇場初公開。
Ⓖ11.1(土)19:10+トーク(森口龍×仲里効)
Ⓖ11.4(火)11:00



反国家宣言—非日本列島地図完成のためのノート
1972/モノクロ/16mm/65分
監督：山崎佑次、川島和雄
沖縄返還に反対する沖縄青年同盟の若者たちから、大阪大正区の沖縄人部落、沖縄、八重山の台湾人移住者、やがて北海道のアイヌに至るロードムービー。上映プリントはYIDFF'95上映用に監督自ら再編集した。
Ⓖ11.1(土)21:20

沖縄・祖国への道
1967/カラー /16mm上映/22分
構成：黒沢剛

沖縄の声
1969/カラー /16mm上映/30分
企画：日本広報センター、南方同胞援護会

石のうた
1965/モノクロ/16mm/41分
構成：沼沢伊勢三
南方地域(沖縄・小笠原)の諸問題解決促進を目指した南方同胞援護会製作の広報映画2作品と「石のうた」。日本と沖縄を八重山に伝わる悲恋伝説の男女にたとえ、沖縄と本土の運動がどのように結びついていたかを知らされる。
Ⓖ11.3(月)Ⓔ13:00 Ⓖ11.6(木)11:00



それは島—集団自決の一つの考察
1971/モノクロ/16mm/81分
監督：関宮則夫
渡嘉敷島で起こった「集団自決」の証言を捉えようと島を訪ねるクルー。住人たちの拒絶と固い沈黙に出会うカメラ。元守備隊長赤松元大尉の渡島が阻止された波紋を感じ取りつつ、その意味するところを日常の映像の中から問う。
Ⓖ11.2(日)18:10+トーク(関宮則夫×仲里効)



博徒外人部隊
1971/カラー /35mm/93分
監督：深作欣二 出演：鶴田浩二
出所したヤクザが、かつての舎弟たちと新天地を求めて沖縄に渡り、既存の組織との縄張りを巡る抗争に。アウトロー集団が「かつて」を回復するための場として沖縄を眼差す先にある、日本と沖縄のコロナルな関係。
Ⓖ11.5(水)11:00 Ⓖ11.13(土)21:00



東シナ海
1968/カラー /35mm/105分
監督：磯見忠彦 出演：田村正和
オンボロマグロ船が機関故障のため那覇港に緊急避難。乗組員のアルバイト大学生と前科20犯のゴロツキら4人組は殺人事件に巻き込まれて右往左往。沖縄長期ロケで、日本人の行動と意識を追究した異色作。
Ⓖ11.4(火)12:40 Ⓖ11.12(水)21:00

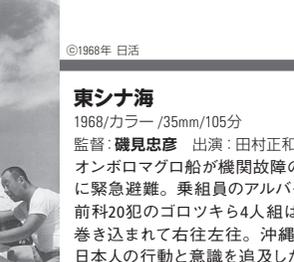


夏の子 1972/カラー /35mm/95分
監督：大島渚 出演：栗田ひろみ、石橋正次、ウイイ
復帰直後の沖縄を舞台に3世代が絡み、戦争責任と戦後体験、日本の戦後と沖縄の占領、日本復帰と観光化を巡る3つの劇が重なり合う大島の異色作。印象的な「白い喪の風景」がある現実性を膨らませる。
Ⓖ11.3(月)Ⓔ11:00
Ⓖ11.8(土)21:00

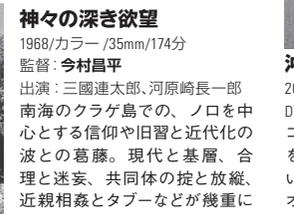
神々の深き欲望
1968/カラー /35mm/174分
監督：今村昌平
出演：三國連太郎、河原崎長一郎
南海のクラゲ島での、ノロを中心とする信仰や旧習と近代化の波との葛藤。現代と基層、合理と迷妄、共同体の掟と放縦、近親相姦とタブーなどが幾重にも交錯する。また冷徹に島民の姿を見据えてもいる。
Ⓖ11.3(月)Ⓔ20:00
Ⓖ11.7(金)11:00

水没の前に ♡YIDFF2005大賞
Before the Flood
2004/カラー /DVcam/143分
監督：李一凡(リ・イーファン)、 鄒雨(イェン・ユイ)
三峡ダムの建設で水没予定の奉節の町は、立ち退きや取り壊しに伴う混乱で大騒動となっていた。キリスト教会の人間関係や安宿の主人と当局の闘いを緻密に記録したカメラの遍在は、長期滞在し現地を熟知する監督ならではの圧巻。
Ⓖ11.2(日)15:10

長江の夢 Dreams of Changjiang
1997/カラー /DVcam/85分
監督：馮飢(フォン・イェン)
三峡ダム建設のため、移住を余儀なくされる川沿いの村人。各人の事情を丹念に取材し、その心理に近づく。YIDFF 2007に『兼愛』で小川紳介賞を受賞する馮監督の原点。8mmビデオが初々しい効果をあげている。
Ⓖ11.4(火)15:00



陳炳(チェンルー)
Chen Lu
2004/カラー、モノクロ/DVcam/29分
監督：林鑫(リン・シン)



蔣(チアン) 氏の家
Last House Standing
2004/カラー、モノクロ/DVcam/54分
監督：干超(ガンチャオ)、梁子(リャン・ツ)
伝統画家による初めての映像作品「陳炳」は、陶器の街と人を瑞々しく描く。「蔣氏の家」では、まもなく取り壊される家に住む初老の生粋上海「貴族」が、北京女性との同居を通して異文化摩擦と奇妙な友情を経験する。
Ⓖ11.4(火)17:00

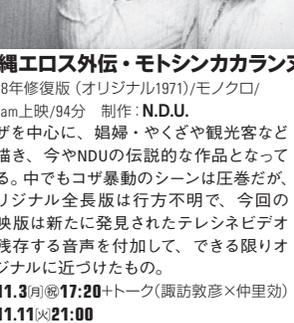


風経
Blossoming in the Wind
2004/チベット語、中国語/カラー /DVcam/60分
監督：孫悦凌(スン・ユエリン)
「風経」はチベット仏教の若い僧侶と弟子、そして監督が雪の聖山を巡る至福の旅。手持ちDVカメラの自由自在は「三元里」でも最大限。広州の旧市街地を撮りまくった映像を編集し、アンビエント音響をつけた秀逸なビデオアート作。
Ⓖ11.4(火)18:50

三元里
San Yuan Li
2003/ダイアログなし/モノクロ /DVcam/44分 制作：縁影会(U-theque)



沖繩エロス外伝・モトシカカランヌー
2008年修復版(オリジナル1971)/モノクロ /DVcam上映/94分 制作：N.D.U.
コザを中心に、娼婦・やくざや観光客などを描き、今やNDUの伝説的な作品となっている。中でもコザ暴動のシーンは圧巻だが、オリジナル全長版は行方不明で、今回の上映版は新たに発見されたテレシネビデオに残存する音声を付加して、できる限りオリジナルに近づけたもの。
Ⓖ11.3(月)Ⓔ17:20+トーク(諏訪敦彦×仲里効)
Ⓖ11.11(日)21:00



高三 Senior Year ㊦
2005/カラー /DVcam/95分
監督：周浩(ジョウ・ハオ)
福建省の高校で、受験勉強に取り組む3年生のあるクラスを1年かけて追う。熱血教師の指導のもとで懸命に勉強に励む生徒たちの姿から、ひとりっ子政策の歪み、貧富の格差、ネット中毒など現代中国の問題点が垣間見られる。
Ⓖ11.6(水)13:10



鳳凰橋を離れて
Out of Phoenix Bridge
1997/カラー /DVcam/110分
♡YIDFF97小川紳介賞
監督：李紅(リー・ホン)
実家から夫の家へ嫁ぐ、働きずめの未来が待つ田舎娘にとって、北京で夢が見られるひと時。彼女たちの揺れる心情と運命への反抗を女性監督が至近距離から追う。
Ⓖ11.6(水)15:30

DOS2008 大特別企画 PART2

中国★記録電影の20年

1993年に小川紳介賞を受賞した「私の紅衛兵時代」。当時ごく少数のテレビ関係者が国家メディアと異なる独立ドキュメンタリーを志し始めていた。今では年間100本以上もの多彩な中国DV作品がヤマガタに応募されるようになってきた。北京/天安門という磁場、社会の辺境にいる弱者の現実、近代史の伝承、アートとの刺激的な交流など、多様性の中に興味深いテーマが見え隠れする。ヤマガタ上映作品プラスαでこの20年を振り返る特集。中国からも呉文光監督、黄牛田電影が来日予定、レクチャー(p3)も行います!

以下の作品にも注目!
『鳳鳴—中国の記憶』p4 / 『鉄西区』p5 / 『夢遊』p7



四海我家
At Home in the World
1995/カラー /DVcam/120分(本編87分版)
監督：呉文光(ウー・ウェンガン)
芸術家を夢見て北京に上京した友人らが、90年代に中国を離れて世界へ散っていく。前作『流浪北京』のダイジェストと佐藤真監督との貴重な対談模様を収録したNHK番組「アジア発ドキュメンタリー第1回 呉文光」(1994年10月放送)と「四海我家」を上映。
Ⓖ11.1(土)11:00+トーク(呉文光)



私の紅衛兵時代
1966, My Time in the Red Guards
1993/カラー /DVcam/134分
♡YIDFF93小川紳介賞
監督：呉文光(ウー・ウェンガン)
文化大革命に青春時代を送り、今は学者や映画監督(『青い嵐』の田壮壮)になっている元紅衛兵たちが、詳細に20数年前のその経験を語る。インディペンデント映画ならではの淡々とした本音。日本語字幕入りで本邦初上映。
Ⓖ10.8(火)14:50
Ⓖ11.1(土)16:00+トーク(呉文光)



ETV特集「シリーズアジアからの発言 ドキュメンタリー映画作家(中国) 呉文光」
日本/1993.4.26放映(NHK教育) / DVcam/45分
佐藤真監督が中国インディーズのバオオニア呉文光とクロストーク。呉の生い立ちからドキュメンタリー観まで、同世代感をもつ佐藤監督が聞き手としてたっぷり紐解いていく貴重な映像。
Ⓖ10.8(火)17:40



広場 The Square ♡YIDFF95 FIPRESCI賞
中国、日本/1994/カラー /35mm/100分
監督：張元(チャン・ユアン)、 段錦川(ドゥアン・ジンチャン)
多くの歴史的イベントの舞台となった天安門広場の、1994年の日常をじっと見つめる。風揚げる人々、テレビ取材班、武装警察、おのぼりさん。中国インディーズの典型、ノーナレーション観察スタイルのひとつの手法となった。
Ⓖ11.2(日)13:00



やさしいっぽん人

1971/モノクロ/35mm/118分

監督: 東陽一

出演: 河原崎長一郎、緑魔子
 渡嘉敷島の集団自決を奇蹟的に生き延びたが、その記憶を忘失したまま東京で暮す「シャカ」。貫して曖昧な態度で漂流するシャカの存在を卓抜な構成で宙づりにし、〈日本人とは何か〉を実験的に描く。

㊟11.2日(日)20:40 ㊟11.10日(月)21:00



オキナワン ドリーム ショー

1974/ダイアログなし/カラー/

8mm/113分

監督: 高嶺剛

復帰直後の風景を凝視したロードムービー。〈通り/過ぎる〉時の風景が見せる刹那や日常にこだわりつつ、時計の時間から遠く離れて視線解きほぐす映像鎮魂曲。即興ライブによる音付けが、色あせない魅力を掻き立てる。

㊟11.1日(日)23:00+トーク(高嶺剛×仲里効)【オールナイト】



オキナワン チルダイ(特別版)

1976-/沖縄語、日本語/カラー、モノクロ/

DVcam/69分

監督: 高嶺剛 出演: 平良トミ、照屋林助、カッチャン

日本復帰後6年の沖縄の変貌を“時間”を手がかりに描いた。現実の時間と神話的な時間が変幻する摩訶不思議な世界が、ここにはある。「沖縄はニッポンか? チルダイがなくなればニッポンだ」

㊟11.1日(日)3:50【オールナイト】
 ㊟11.14日(土)21:00



リトアニアへの旅の追憶

Reminiscences of a Journey to Lithuania

アメリカ/1972/英語、リトアニア語/

カラー、モノクロ/35mm/87分
 監督: ジョナス・メカス
 ナチスに追われアメリカに亡命したメカスが27年ぶりに訪れた故郷リトアニアでの母、友人たちとの再会を果たす旅を中心にした日記映画。実験映画の不朽の名作ともいわれ、多大な影響と刺激を与え続けている。

㊟11.1日(日)2:00【オールナイト】



2H

日本/1999/中国語、日本語/カラー、モノクロ

35mm/120分 監督: 李縷(リ・イン)

『靖国 YASUKUNI』の李監督の初長編。若い女性芸術家とかつて国民党の将軍だった老人—東京在住の中国人2人を軸に疎外と孤独を描く。撮影に小型ビデオを使い、意図的な色調整を加えた35mmフィルムの仕上げが見事。

㊟11.6日(木)18:00



不幸せなのは一方だけではない

More than One Is Unhappy

2000/カラー/DVcam/45分

👁️YIDFF2001奨励賞

監督: 王芬(ワン・フェン)



一緒の時

Wellspring

2002/カラー/DVcam/49分

👁️YIDFF2003小川紳介賞

監督: 沙青(シャ・チン)

浮気が自慢の鉄道員の父と、結婚生活の苦勞ばかり語る母を軽やかなステップで捉え直す22歳の作者。中国にもついに家族ドキュが登場した「不幸せなのは一方だけではない」。対照的に抑制されたミニマルな映像で衰弱していく脳性麻痺の少年と家族の物語を寓話化し涙を誘う「一緒の時」。

㊟11.7日(土)16:30



白塔 White Tower

2003/カラー/DVcam/83分

監督: 蘇青(スー・チン)、米娜(ミー・ナー)
 中国で初めてろう者の恋愛と感情世界を描いた作品。恋心を寄せるろう者の女性には台湾人の婚約者がいて、男は前妻やおせっかいな友人まで登場するから優柔不断に……。手話で交わされる活発な会話が躍動感あふれる。

㊟11.7日(土)14:30



秉愛 (ピンアイ)(原題) Bingai

2007/カラー/DVcam/114分

👁️YIDFF2007小川紳介賞

監督: 馮懿(フォン・イエン)

三峡ダムの建設によって移住させられる気概あふれる秉愛さんは、役人と渡り合い、この土地に立つ。まもなく劇場公開されるニューサウンドバージョンで限定上映!

㊟10.4日(土)18:00

新進気鋭!

黄牛田 (ホンアンニウティエン) 電影 参上!

孤高の作者の時代に終止符を打ち、批評し助け合う映画集団が立ち上がった。謎めいた風貌だが、中国の「青の会」誕生か? ゲスト6名が来日!



姉貴 Sister A

中国、アメリカ/2007/中国語、英語/

カラー/DVcam/151分

監督: 胡新宇(フー・シンユイ)

暴力的な夫と別れアメリカで再婚した監督の姉。娘も渡米し同居が始まると、家族に亀裂が。同じ屋根の下、監督がコミカルに介入する。

㊟9.26日(土)11:00 ㊟10.15日(土)16:00

㊟11.5日(土)16:50



南京路

Street Life

2007/カラー/DVcam/112分

監督: 趙大勇(ジャオ・ダーヨン)

中国全土から上海の旧市街に集まった路上生活者。ゴミ拾い、かっぱらい、流し、物をい……。あらゆる手段をもって生き残ろうとする生命力の謳歌。

㊟11.6日(木)20:30+トーク(趙大勇)



排骨 Paigu

2006/カラー/DVcam/106分

監督: 劉高明(リュウ・ガオミン)

海賊版DVDを売る深圳の小さな店。アート映画の情報収集に余念ない排骨だが、田舎出身で学歴のない自分でも「映画のような」幸せをつかめるのか……?

㊟11.7日(土)18:40+トーク(劉高明)



火把 (たいまつ) 劇団 Torch Troupes

三峽ダムの建設によって移住させられる気概あふれる秉愛さんは、

役人と渡り合い、この土地に立つ。まもなく劇場公開されるニューサウンドバージョンで限定上映!

㊟11.5日(土)20:00+トーク(徐辛)



NOISE

2007/ダイアログなし/カラー/DVcam/62分

監督: 王我(ワン・ウオ)

爆竹の喧騒と大騒ぎ。事件にむらがる野次馬。暴動前のガス抜きのような天安門広場での発砲。作者の冷徹な批評眼が鋭い。上映後は黄牛田全員集合で大トークを予定。

㊟11.7日(土)21:00+トーク(王我ほか)